

補聴器と 集音器のちがい

- 1 安全性がちがう
- 2 調整がちがう
- 3 装着感がちがう
- 4 機能がちがう
- 5 価格のちがい

1

安全性がちがう

補聴器は、医薬品医療機器等法で「人の生命及び健康に影響を与えるおそれがあることから、その適切な管理が必要」と、厚生労働省から認定を受けた「管理医療機器クラスII」に指定されている管理医療機器です。

厳しい安全性の基準をクリアし、大きすぎる音が出ないように出力が制限されている機器ですので、日常的に使用していただくのも安心です。

集音器は、「家電製品」に分類されます。

あくまで音を大きくする機器のため、個別の聴力に合わせることはできません。

耳に合っていないと負担をかけ、聴力の低下を早める可能性があります。



2

調整がちがう

補聴器は、対面販売です。

聴力は一人ひとり異なりその程度は軽度・中等度・高度など様々です。

補聴器は聴力に合わせて、きめ細かく調整をします。

また、カウンセリングから個々のニーズに合わせた調整も行います。

ご購入後もご使用者様のニーズの変化に合わせて再調整します。



装着感がちがう

耳の形も一人ひとり異なります。

補聴器は、オーダーメイドで耳の形に合わせて作製することが出来ます。オーダーメイドで作製するメリットは

- ◆音響的に優れている
 - ◆安定性に優れ、外れにくい
 - ◆耳の形状に合わせるため、着け心地が良い
- 集音器などの既製品では、おさまりが悪く、ズレたり、外れたりするため、長時間の使用には向きません。



機能がちがう

補聴器には、様々な機能があります。

- ・雑音抑制 ・マイクの指向性
- ・ハウリング抑制 ・突発音、風切り音抑制
- ・Bluetooth接続 ・自動環境適応

これらの機能により、ご使用者様のニーズに合わせた快適な聞こえを提供します。

近年ではAI（人工知能）技術を搭載した器種もあります。



価格のちがい

安全性・調整・装着感・機能の違いにより集音器との価格に差があります。

補聴器の価格には、購入後の調整やメンテナンスの費用が含まれています。

〈それぞれの一般的な価格〉

補聴器1台の価格目安 10万円～20万円

集音器1台の価格目安 1万円～2万円

〈補聴器に以下のような費用助成制度があります〉

- ◆障害者総合支援法
- ◆自治体による補聴器購入費助成（自治体によって異なります）
- ◆医療費控除の対象

